

例年に比べ難化した。特に【Ⅲ】【Ⅳ】は類題を解いたことのない受験生は、かなりてこずったように思われる。

【Ⅲ】の空間ベクトルを用いての平面と座標の関係を問う問題は、旧課程では多く出題されていたが、近年では高校の授業でもあまり扱わない問題である。

【Ⅳ】は積分を用いた関数の式としてはよく見られる問題だが、三角関数との関係と融合させているので難易度が上がっている。

【Ⅱ】は典型的な問題だが、(3)の積分計算をそのまま計算するとかなりの計算量になり、式変形によって簡単に計算できたかで得点の差が生まれたと思われる。